

腎疾患を例に考える移行期医療

～移行に備える母親のメッセージとともに～

日時：令和6年**11月16日（土）**

10:00～12:00（受付9:30～）

場所：埼玉県立小児医療センター6階 講堂（会場参加のみ）



内容

➤ 定員 **100名**（ひと家族3名様までの参加）
（中学生以下は家族同伴）

➤ 参加費 **無料**

開会挨拶

埼玉県保健医療部 健康長寿課

講義 1

小児のネフローゼ症候群、慢性腎炎（IgA腎症、紫斑病性腎炎）について
埼玉県立小児医療センター腎臓科医員 坂口 晴英

講義 2

小児期発症ネフローゼ症候群、慢性腎炎（IgA腎症、紫斑病性腎炎）の
移行期症例の現状

埼玉県立小児医療センター腎臓科科长 藤永 周一郎

講義 3

脱・保護者だけが頑張る子育て ～ライフステージで見る移行期“支援”～
二モカクラブ代表 和田 芽衣 様

講評・閉会挨拶

埼玉県移行期医療支援センターセンター長

埼玉県立小児医療支援センター副病院長 浜野 晋一郎



～セミナーのご紹介～

令和元年度に開設した『埼玉県移行期医療支援センター』では、小児科・小児病院から成人診療科へ、スムーズな移行ができるよう相談窓口の開設やセミナー開催、リーフレットの作成などをおこなっています。

5回目となる今年のセミナーは「腎疾患を例に考える移行期医療」をテーマに埼玉県立小児医療センターの医師が小児のネフローゼ症候群、慢性腎炎の疾患のことと、その患児たちの移行の現状について説明します。

また、二モカクラブ代表でもある患児のお母さまからは、年齢に合わせて変化する移行期医療にまつわる悩みや経験から知り得た情報、未来に向けて考えたことをお話しします。

申し込み方法

- ・右のQRコードからお申込み
- ・埼玉県立小児医療センターのホームページからお申込み

第5回移行期医療支援セミナー



申し込み期間

- ・8月1日(木)～11月14日(木) *定員になり次第締め切り

参加対象者

- ・埼玉県在住の概ね15歳以上の小児慢性特定疾病医療受給者とその家族
- ・埼玉県在住の成人期にむかい移行をお考えの方
- ・埼玉県内の医療機関の関係者

疾患に関わらずご参加いただけます。

主催
事務局

埼玉県移行期医療支援センター



地方独立行政法人
埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター

お問合わせ

地域連携・相談支援センター（担当：紫藤・佐々木）

TEL 048-601-1509（直通）

〒330-8777 さいたま市中央区新都心1-2